



# エコ・ファーストの約束（更新書）

～ 環境先進企業としての地球環境保全の取組 ～

平成24年3月7日

環境大臣 細野 豪志 殿

キリンビール株式会社

代表取締役社長 松沢 幸一

## 「大地の恵みを未来につなぐ」

キリンビール株式会社は、大地の恵みを糧として事業を行う企業として、豊かな大地の恵みを享受できる環境を守り、次世代にも引き継いでいくため、以下の取組を進めてまいります。

### 1. 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

- コージェネ排熱の利用範囲拡大やヒートポンプ導入の検討等のほか、製造工程の改善を実行し、工場で発生するCO<sub>2</sub>を削減する取組を継続します。
- 飲料会社等との共同配送等により、トラック延べ台数を減らす取組や輸送ルートを見直し、輸送距離を短縮する取組を進めます。
- 2015年までに、製造・物流・オフィスのCO<sub>2</sub>排出量を64%、製造の排出原単位を55%、製品輸送の排出原単位を46%削減します（いずれも1990年比）。
- LCA手法によるCO<sub>2</sub>排出量ほか環境情報の「見える化」に向け、努力します。
- 「チャレンジ25」キャンペーンにグループを挙げて取り組みます。

### 2. 容器包装の3R（発生抑制・再利用・再生利用）を適正かつ積極的に推進します。

- 容器包装3R推進環境大臣賞を受賞したビール用軽量リターナブル大びん（従来比21%軽量化）、業界最軽量のビール用軽量リターナブル小びん（従来比10%軽量化）・204径アルミ缶（従来比18%軽量化）、コーナーカットカートン（従来比2%軽量化）などで培った開発体制を活用して、製造から輸送・使用・リサイクルに至る商品ライフサイクル全体で、更に環境負荷の低い容器の開発に努めます。
- 2015年までに6缶マルチパックを10%軽量化（2007年比）することなどを目標とし、更なる軽量化に努めます。また、アルミ缶を中心とした容器包装において更なる軽量化の取組を推進します。
- リターナブルびんシステムの維持・啓発に努め、容器の再利用を推進します。
- 容器開発において、できるだけ単一素材を目指し、複数素材では分離が簡単で再生利用しやすい形状とします。また、リサイクル関係団体と連携して、容器の再生利用を推進します。

### 3. 全国の工場の水源地を守る取組を積極的に推進します。

- 全国の工場を中心に「水源の森づくり」活動を継続するほか、地域の森林保全活動に参加を継続していきます。

### 4. 全国の工場見学来場者を対象にした環境教育を積極的に推進します。

- 全国の工場で見学者を対象にしたエコ・プデュワリーツアーを開催し、ピオトープを活用した地域環境保全・生物多様性の学習、3Rや地球温暖化防止の重要性の理解促進の取組を継続します。

### 5. 再資源化の取組を積極的に推進します。

- ビールや発泡酒の製造工程で発生する仕込粕の飼料・土壌改良材・キノコ培地への資源化や、廃棄プラスチック箱および廃棄プラスチックパレットのプラスチックパレット原料への再利用など、様々な副産物・廃棄物の再資源化率100%を継続します。

キリンビール株式会社は、上記取組の進捗状況について、定期的に公表するとともに、環境省への報告を行ってまいります。

**KIRIN**

